

150のHistory

1985(昭和60)年～1989(昭和64)年

創立110周年を お祝いして

1985年、當麻小学校の創立110周年の記念式典が行われました。それを記念して、「大望の像」が建立されました。この像の趣旨は「110周年史」に書かれていますが、小学生にも分かるように紹介します。

「大望の像」は どんな像？

この像は、男の子と女の子が力を合わせて地球を支えている、高さ2メートルくらいの大きな銅像です。これは、當麻小学校が110歳になったことを記念して、當麻小学校を卒業した人たち（同窓会）がみんなでお金を集めて、後輩である小学生のみんなにプレゼントしてくれたものです。

像にこめられた願い

この像には、次の3つの大切な願いがこめられています。

- ・世界中の人たちが、なかよく、幸せに暮らしてほしい。
- ・強く、やさしい心を持った人になってほしい。
- ・目標に向かって、最後までがんばれる人になってほしい。

像の土台には、文部大臣だった奥野誠亮（おくの せいすけ）さんという方が書いてくれた「明るく 正しく 健やかに」という言葉が刻まれています。これは、この像の願いをまとめ

た、とっても大切な言葉です。

この像は、みんなが成長し、明るい未来をつくっていくことを応援してくれています。



このころの日本は？

このころの日本は、バブル景気の絶頂期でした。好景気にわき、株価や土地の価格が急上昇し、多くの人がぜいたくを楽しんでいました。テレビや雑誌では、海外旅行や高級ブランド、グルメなど、華やかな生活が紹介されていました。その一方で、土地や株の価格が高くなりすぎて、家を買うのが難しくなるなどの問題も起こっていました。1989年には、昭和天皇が崩御し「平成」という新しい時代が始まりました。